◆2022年1月の新刊　日本キリスト教団出版局

聖書や信仰に対する深い理解へいざなう11の講演を収録

見えない神を信ずる

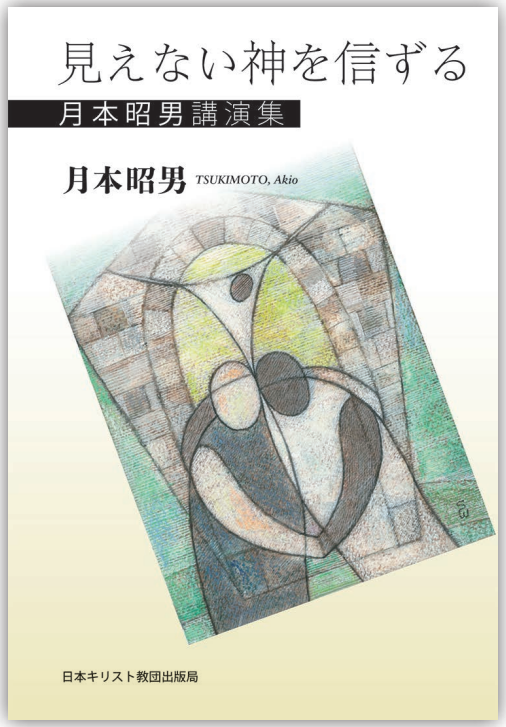
月本昭男講演集

2022年1月25日
刊行予定

月本昭男（つきもとあきお） 著

1948年長野県生まれ。東京大学、同大学院、テュービンゲン大学に学ぶ。立教大学キリスト教学科教授を経て、現在、上智大学神学部特任教授（専攻：旧約聖書学、古代オリエント学）。

旧約聖書学・聖書考古学の第一人者による講演集。旧約聖書のメッセージが持つ現代性を愛・希望・ヨベルの年などのキーワードをもとに解き明かし、隣人愛・兄弟愛・良心の根底にある「見えない神」への信仰を力強く語る。



四六判・並製・200頁・定価2,420円（本体2,200円＋税）
ISBN978-4-8184-1098-5　C0016

目次

第Ⅰ部　旧約聖書に学ぶ
- 人はひとりではない――旧約聖書にみる愛の倫理
- 出エジプト伝承の史実性とその思想的意義
- ヨベルの年の現代的意義
- 旧約聖書にみる「孤児と寡婦」そして「寄留者」
- 預言者アモスの獅子吼
- 絶望という希望――ヨブの場合

第Ⅱ部　信仰を語る
- 東方の博士たちと羊飼い
- 「霊の体」
- 見えない神を信ずる
- われここに立つ――良心について考える
- 内村鑑三の贖罪信仰――その特色と現代的意義